平成29年度基本施策の達成状況評価

１　基本施策１：市民活動の裾野の拡大

１－１．市民活動のきっかけづくり

１－２．多様な活動につながる情報の提供

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

　市、武蔵野プレイス、市民社協において、様々な情報提供に資する事業が展開されており、参考指標についても安定して推移している。今後は、市、武蔵野プレイス、市民社協、市民活動団体がそれぞれ発信している情報を集約した武蔵野市の市民活動を網羅した情報発信の手法を検討したい。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

「１－２.市民活動のきっかけづくり」は重点施策の達成状況評価に記載。

　イベント等の広報を行う際、チラシにデザイナーを起用することを検討すると良い。

　市民にも広報（デザイナーや情報発信力のある方）が上手い人がいると思われ、協働してイベント広報に取り組めるといいのではないか。

２　基本施策２：市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実

２－１．情報提供の充実

２－２．相談体制の拡充

２－３．財政的な支援

２－４．市民活動に関する学びの機会の提供【重点施策】

２－５．交流の促進

２－６．コーディネート機能の強化【重点施策】

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

「２－４．市民活動に関する学びの機会の提供」は重点施策の達成状況評価に記載。

一定の事業は行われているが、市民活動の多様性に合わせて、様々な分野において、更なる事業の実施が必要である。また、市の補助金以外の民間の助成金等の資金調達手段の情報提供の充実も必要である。

補助金制度は、法人・団体の成長・発展のための事業であり、市民活動の促進と自律・自立に向けた支援のために、有効に活用できるよう、補助金の趣旨とあり方についてさらなる検討が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

・　財政的な支援という点はネックになりがちだが、従来の補助金等ではなく、企業等とのマッチングといった支援もあると思う。

* 学びの支援だけということが、これまで多かったように思う。そこから活動にいかにつなげるかが重要。その部分のサポートがほしい。
* 武蔵野プレイスでは、各団体へステージごとの自立に向けた支援を行っている。

３　基本施策３：市民活動の場の活用促進

３－１．武蔵野プレイスの有効活用

３－２．多様な活動の場の情報提供

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

武蔵野プレイスを活用した事業は多く行われており、市民活動団体の登録数なども安定して推移している。今後さらに、人・物・情報の集約を図り、本市の市民活動の拠点として、市民活動団体に対しさらなる有効活用を促す必要がある。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

武蔵野プレイスの登録団体数は安定して推移している。

武蔵野プレイスではこれまで、生涯学習という観点で、講演等を行ってきた。著名人であれば多くの方に参加いただけるが、そのあとの活動につながりにくかった。講義の後にマッチングを行う形に変更するなど工夫をしている。

創業支援施設などの情報を一括して提供してもらえると使いやすい。

４　基本施策４：課題解決のための「連携と協働」の推進

４－１．連携と協働に向けたネットワークの構築

４－２．連携と協働に向けた庁内体制の構築

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協の実施している事業について、市民活動団体と大学等との協働は行われているが、地域企業との協働の実績が少ない。今後、地域企業と市民活動団体との協働の活性化のための、コーディネーターの育成や情報の提供が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

企業との連携協働は実は少なくはないのではないか。洗い出しが済んでいないと思う。

企業市民、企業の市民活動という点は現計画にはない。このあたりをどのように位置づけるかが次期計画で議論できると良い。

行政が関わる相談の窓口は全般的に固い印象がある。